

2021年12月14日

各位

会社名 中小企業ホールディングス(株)
代表者名 代表取締役社長 岡本 武之
(コード番号 1757 東証第2部)
問合せ先 代表取締役社長 岡本 武之
(Tel. 03-6825-7100)

(開示事項の変更)

『中小企業ホールディングス プロジェクト』に関するお知らせ
開示事項の変更についてのお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、当社の目指す事業コンセプトである『中小企業ホールディングス プロジェクト』(以下「本プロジェクト」といいます。)に関し、現状を踏まえ内容及びスケジュールについて、変更することを決議しましたので、お知らせ致します。

1. 過去の適時開示の経緯

当社は、2021年8月11日付け『中小企業ホールディングス プロジェクト』に関するお知らせにおいて、日本の中小企業が直面している後継者問題を始めとする様々な経営課題に対して、社会貢献の一助となるべく、様々な中小企業を株式交換等により当社グループの一員として迎え入れ、共に闘い、共に成長していくことを目指す、本プロジェクトを発表しました。

本プロジェクトの発表に際し、中心となってデューデリを進めて頂く役割を求め、かなた税理士法人との業務提携の締結(本年7月21日付け当社ホームページ NEWSをご参照ください。)、また、中小企業の経営革新計画等の公的支援コンサルティングにおいて、多くの実績を持つ東京中央経営(株)との業務提携の締結(本年7月27日付け当社ホームページ NEWSをご参照ください。)し、本プロジェクトの準備を進めて参りました。

また、当社の組織再編を行い、体制の構築も図りました。

このような経緯で当社は、2021年8月11日に本プロジェクトの発表に至りました。

2. 過去の適時開示の現状

本プロジェクトで、当社が買収候補となる中小企業にどのようにアプローチできるか、また、その規模、将来性、経営課題をどのように検証し、買収スキームを決め、将来的に当社グループの一員として当社の企業価値向上につながるか、方針を明確に示す必要がございました。

2021年8月11日付けの本プロジェクトのお知らせは、当社の方針等を発表したもので、この方針に沿った推進をして参りました。

最初に当社は、有望な買収候補の発掘方法が重要と認識し、その方法として広告宣伝による周知活動を行うことを考えました。試験的に複数のM&A仲介専門業者から数件の買収案件の紹介を受けましたが、その数も少なく、やはり周知活動としての広告宣伝は非常に重要であると考えております。当初の予定では2021年9月より周知活動を開始する予定でしたが、当社の手元資金では本プロジェクトを開始する余裕がなく、新たな事業資金の確保が必要となりました。

本プロジェクトを推進するための資金を確保するため、2021年7月中旬より資金調達の検討を行って参りましたが、検討に時間を要したことから本プロジェクトを当初予定していたスケジュールで実行することが出来ず、スケジュールを変更することと致しました。

当社は、2021年8月16日付け第1四半期報告書及び同年11月10日付け第2四半期報告書でお知らせしましたように、前期及び本年4月20日付けで実行された旧経営陣による主要子会社の売却の結果、売上が極端に減少し、合わせて臨時株主総会に係る諸経費やプロキシファイトに伴う弁護士費用等が増加したことに加え、旧経営陣が本年4月の解任前に行った1件の未上場会社の株式取得と当社子会社による新規商材の購入に係る前払い金の拠出により、合計約2億円の手元資金を減少させたことにより、本プロジェクトを推進するためには新たな事業資金の確保が必要となり、手元資金は当社グループ立直しのため子会社既存事業へ投入することと致しました。

当社グループ自身の立直し策として考えられることは、現行子会社の売上増加と収益向上が第一優先となりますが、子会社（本年5月25日に設立されたV BLOCK 販売㈱は除く。）は、相当毀損しておりました。そのため、各子会社の事業内容を精査し、成長の可能性の可否を判断し、経営資源投入の優先順位を決める対応を進めました。

検討の結果、本年9月以降、当社子会社のクレア建設㈱及びV BLOCK 販売㈱に、現有資金を事業資金として貸付し、売上と収益の拡大を図りました。その理由としましては、クレア建設㈱については、邦徳建設㈱との業務提携により売上と収益の拡大が期待できると考えたからです。V BLOCK 販売㈱については、2021年6月25日付け「当社子会社による㈱ジールコスメティックス及び㈱ジールバイオテックとの商品の販売に関する総販売店契約締結のお知らせ」でお伝えしましたが、2021年8月1日よりV BLOCK 商品について、当社子会社であるV BLOCK 販売㈱が、㈱ジールコスメティックス及び㈱ジールバイオテックとの間で、商品の販売に関する総販売店契約を締結し、㈱ジールコスメティックスの既存の販売先についても2021年8月31日までにV BLOCK 販売㈱との契約に切り替えることとなっていたことにより、販売のための商品仕入れの必要が生じたためです。

本日発行決議した第三者割当増資の内の新株式発行による調達資金を要して、現行の当社子会社の中で、事業投資に見合った売上拡大、収益向上が見込めるクレア建設㈱、V BLOCK 販売㈱に対し事業資金を貸付し、当社の連結上の売上及び収益を追求して参ります。

また、第三者割当増資の払込み後から始まる新株予約権の行使による資金調達に合わせ、クレア建設㈱、V BLOCK 販売㈱に加え当社子会社の㈱JP マテリアルにも事業拡大を図るべく事業資金を貸付します。

本プロジェクトについても、第三者割当増資の内の新株予約権の行使による資金を充当し、当初発表したスケジュールから遅延しますが、確実に推進したい所存です。

なお、新株予約権はその行使による資金の調達に不確実性があるため、株価や行使状況によっては事業計画通りに資金が調達できず、本プロジェクトが更に遅延する可能性もあり得ます。

3. 過去の適時開示の訂正

本第三者割当増資による資金調達を踏まえ、本プロジェクトの変更を図りましたので、別紙にてご案内致します。

4. 業績に与える影響

本プロジェクトによる業績に与える影響は軽微であり、当期の業績に与える影響はありません。なお、本プロジェクトは当社にとり中長期的な企業価値向上を目指して推進するものであり将来的に業績に与える影響が及ぶものと考えます。その結果、開示すべき事項が発生した場合には速やかに開示致します。

以上

『中小企業ホールディングス プロジェクト』

当社は、2021年12月14日開催の取締役会において「第三者割当により発行される新株式及び第25回新株予約権の発行」を決議し、資金使途の主要な充当先に『中小企業ホールディングス プロジェクト』における買収資金等を決定しました。その決定に基づき本年8月11日付け発表しました『中小企業ホールディングス プロジェクト』の内容を変更しましたので、お知らせ致します。

【不変事項】

■ 買収候補とする中小企業の概要

業 種	原則として業種は問いません（上場会社の子会社不適格は除く。）
会 社 形 態	原則として日本国内の株式会社
資 産 内 容	第1回については総資産11億円以内が対象（原則として債務超過でないこと）
売 上 規 模	第1回については目安として年商13億円以内
時 価 総 額	価値算定により当社時価総額と同等規模を上限（下限は特になし）
有 利 子 負 債	第1回については有利子負債額1億円以下が対象

【変更事項】

■ 第1回スケジュール（予定）

（変更内容は下線で示しております。）

	変更前	変更後
エントリー期間	2021年9月～10月	<u>2022年2月～3月</u>
書類選考	2021年9月～10月	<u>2022年3月</u>
面談・デューデリ・価値算定	2021年10月～11月	<u>2022年3月～5月</u>
株式交換等	2021年12月	<u>2022年6月</u>

（注）上記の株式交換等には、当社株式との株式交換による買収のほか、現金による買収も含まれます。

【追加事項】

この度の第三者割当増資による資金調達により、新たに買収した中小企業の事業の成長を促すことを目的に、次の資金対応も行うことと致しました。実施時期を2022年5月から7月で予定しております。

■ 買収企業の事業にかかる投融資（以下の当社子会社には、買収した中小企業を含みます。）

(1) 当社子会社への貸付

当社子会社の既存事業の拡大を目的とした事業資金の貸付。

(2) 新規事業を行うための新会社設立を含む事業資金

当社グループ会社と外部提携先との事業シナジーに基づき、新規事業を行うための事業資金として新会社設立費用を含め拠出する資金です。これにより、当社グループ会社の技術・ノウハウ・知財・人材等を活かし、外部企業のリソースも活用することで更なる収益機会を追求して参ります。

なお、計上する予算の支払い対象となるものは、新会社設立費用・開業費・PC等の事務用品費・給与等の人件費・事業に伴う動産及び固定資産の取得或いはリース等となり、全て当社から新会社への出資並びに貸付となります

2021年12月14日

中小企業ホールディングス株式会社

代表取締役 岡本 武之